

『【新レベル表対応版】QC 検定受検テキスト 1 級』正誤表
第 1 刷～第 12 刷

No.	頁	行 箇所	誤	正
1	54~57 64	該当箇所	工業標準，工業標準化，日本工業規格 (JIS)	産業標準，産業標準化，日本産業規格 (JIS) ※名称が変更されたため修正
2	54,55	該当箇所	鋳工業品	鋳工業品およびデータ，サービス，経 営管理
3	56	下 9 行目	一定水準の品質、性能を有する鋳工業 品を安定して製品することが可能な 技術的能力を有する工場に対して， JIS マークの表示を認定する制度	一定水準の品質、性能を有する鋳工業 品等を安定して提供することが可能な 技術的な能力を有する事業者に対し て，JIS マークの表示を認定する制度
4	116	図 6.1 図中の 数値	$n=4$	$n=5$
5	117	上 8 行目	N が相当大きければ	$\frac{x}{n} \leq 0.1$ であれば
6	145	図 8.4 縦軸	確率 $f(x)$	確率密度関数 $f(x)$
7	147	図 8.5 縦軸	確率 $f(x)$	確率密度関数 $f(x)$
8	147	図 8.5 図中	$\lambda = 2$	$\lambda = 0.5$
9	175	上 2 行目	$\sum V_i = V_1 + V_2 + V_3 + V_4 =$	$\sum V_i = V_1 + V_2 + V_3 + V_4 + V_5 =$
10	228	上 4 行目	LTPD : Lot Tolerance Percent Defective	LTPD : Lot Tolerance Percent Defective
11	256	下	計算補助表(表 12.4, 表 12.5 参照)	計算補助表(表 12.14, 表 12.15 参

		3 行目	を作成する.	照)を作成する.
12	267	下 1 行目	$= 12.125 \pm 3.494 = 12.631, 15.619$	$= 12.125 \pm 3.494 = 8.631, 15.619$
13	304	下 8 行目	$\hat{\sigma}_L^2 = \frac{V_L - V_M}{mn} = \frac{41.34 - 4.25}{4} = 9.273 = (3.05)^2$	$\hat{\sigma}_L^2 = \frac{V_L - V_S}{mn} = \frac{41.34 - 4.25}{4} = 9.273 = (3.05)^2$
14	332	上 4 行目	$= -\frac{(78.7 + 70.8 + \dots + 75.7)(68 + 33 + \dots + 54)}{30} = 492.58$	$= -\frac{(78.7 + 70.8 + \dots + 75.7)(68 + 33 + \dots + 54)}{30} = 492.58$ 頭の等号削除
15	343	上 9 行目	$\hat{\beta}_0 \pm t(28, 0.05) \sqrt{\left(\frac{1}{n} + \frac{\bar{x}^2}{S_{xx}}\right) V_e}$	$\hat{\beta}'_0 \pm t(28, 0.05) \sqrt{\frac{V_E}{n}}$
16	350	上 12 行目	2 変数関数	このとき, $S_{21} = S_{12}$ に注意しよう. 2 変数関数
17	350	上 15 行目	$\begin{cases} \frac{\partial}{\partial b} Q^*(b, c) = 2(S_{11}b + S_{12}c - S_{1y}) \\ \frac{\partial}{\partial b} Q^*(b, c) = 2(S_{21}b + S_{22}c - S_{2y}) \end{cases}$	$\begin{cases} \frac{\partial}{\partial b} Q^*(b, c) = 2(S_{11}b + S_{12}c - S_{1y}) \\ \frac{\partial}{\partial c} Q^*(b, c) = 2(S_{21}b + S_{22}c - S_{2y}) \end{cases}$
18	350	上 19 行目	$\Delta = S_{11}S_{22} - S_{12}^2$	$\Delta = S_{11}S_{22} - S_{12}S_{21}$
19	350	上 19 行目	$S^{12} = -S_{12}/\Delta$	$S^{12} = S^{21} = -S_{12}/\Delta$
20	352	上 13 行目	$= \hat{\beta}_1^2 S_{11} + \hat{\beta}_2^2 S_{22} + 2\hat{\beta}_1\hat{\beta}_2 S_{12}$	$\hat{\beta}_1^2 S_{11} + \hat{\beta}_2^2 S_{22} + \hat{\beta}_1\hat{\beta}_2 S_{12} + \hat{\beta}_2\hat{\beta}_1 S_{21}$
21	352	上 14 行目	$= \hat{\beta}_1(\hat{\beta}_1 S_{11} + \hat{\beta}_2 S_{12}) + \hat{\beta}_2(\hat{\beta}_1 S_{12} + \hat{\beta}_2 S_{22})$	$= \hat{\beta}_1(\hat{\beta}_1 S_{11} + \hat{\beta}_2 S_{12}) + \hat{\beta}_2(\hat{\beta}_1 S_{21} + \hat{\beta}_2 S_{22})$
22	355	下 6 行目	$r_{x_1y} = \dots = -0.633$	$r_{x_1y} = \dots = -0.663$
23	361	上 7 行目	実際には, これらの変換の妥当性は, モデルの適合性として 14.5.3 項の手法で確認されることが多い.	実際には, これらの変換の妥当性は, 14.5.3 項の手法を用いて実データでの適合性で評価されることが多い.
24	367	上 13 行目	予測値 \hat{y}_1	予測値 \hat{y}_i
19	367	上 14 行目	$\hat{y}_1 = h_{i1}y_1 + \dots + h_{in}y_n$	$\hat{y}_i = h_{i1}y_1 + \dots + h_{in}y_n$
20	367	下	$h_{ii} \geq 2(p+1)$	$h_{ii} \geq 2(p+1)/n$

		3 行目		
21	379	表 15.4 注の 1 行 目	$D^2:2$ 群のマハラノビスの距離	$D^2:2$ 群のマハラノビス距離の 2 乗
22	381	上 3~4 行目	〜と判定している個数 n_{12} と, 〜 個数 n_{21}	〜と判定している個数 n_{21} と, 〜 個数 n_{12}
23	383	下 3 行目	以上より, 等分散の場合には,	以上より等分散の場合には, \mathbf{z} の 式中の μ_A, μ_B に \bar{x}, \bar{y} を代入して,
24	384	上 2 行目	そ れ ぞ れ の 分 散 σ_A^2 と σ_B^2 に標本分散 V_A, V_B を代入して...	母分散 σ_A^2, σ_B^2 に標本分散 V_A, V_B を代入して...
25	388	上 17 行目	$\sum \{(\text{固有ベクトル})$ $\times (\text{規準化された各特性データ})$	$\sum_j (\text{固有ベクトル})_j$ $\times (\text{規準化された第 } j \text{ 特性値データ})$
26	405	下 8 行目	$F(t) = \Pr(T > t) = 1 - R(t)$	$F(t) = \Pr(T \leq t) = 1 - R(t)$
27	405	下 10 行目	$R(t) = \Pr(T > t) = \int_t^\infty f(t)dx$	$R(t) = \Pr(T > t) = \int_t^\infty f(x)dx$